

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券
信託期間	2020年5月8日まで（2016年7月29日設定）
運用方針	世界各国の金融機関が発行する劣後債および優先証券等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。
主要運用対象	世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。</li> <li>※加えて事業会社の発行する劣後債と優先証券も投資対象としています。</li> <li>投資を行う劣後債と優先証券等は、原則として、取得時において当ファンドの信託期間終了前に満期償還日または繰上償還の可能日が到来するものとします。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> </ul>
主な組入制限	外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎年1月10日および7月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# 国際金融機関債ファンド （為替ヘッジあり）プラス2016-07

第7期（決算日：2020年1月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「国際金融機関債ファンド（為替ヘッジあり）プラス2016-07」は、去る1月10日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額				受利益 者	債組入 比率	債券先 物比率	元残 存率
		税金 分配	み 金	期 騰 落	中 額 騰 落				
(設定日)	円	円	円	円	%	%	%	%	
2016年7月29日	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0	
1期(2017年1月10日)	10,031		40	71	0.7	1.6	92.5	99.4	
2期(2017年7月10日)	10,365		40	374	3.7	4.7	97.4	68.1	
3期(2018年1月10日)	10,446		40	121	1.2	3.9	96.7	50.9	
4期(2018年7月10日)	10,319		40	△87	△0.8	2.5	96.7	46.3	
5期(2019年1月10日)	10,268		30	△21	△0.2	1.9	92.8	41.1	
6期(2019年7月10日)	10,335		30	97	0.9	1.9	86.2	36.1	
7期(2020年1月10日)	10,269		30	△36	△0.3	1.5	86.7	34.5	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	基準価額		債組入 比率	債券先 物比率	債券 率
		騰	落			
(期首) 2019年7月10日	円 10,335		% —	% 86.2	% —	% —
7月末	10,328	△0.1		77.3	—	—
8月末	10,325	△0.1		76.1	—	—
9月末	10,320	△0.1		59.4	—	—
10月末	10,319	△0.2		57.2	—	—
11月末	10,310	△0.2		85.8	—	—
12月末	10,302	△0.3		86.4	—	—
(期末) 2020年1月10日	10,299	△0.3		86.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第7期：2019年7月11日～2020年1月10日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第7期首	10,335円
第7期末	10,269円
既払分配金	30円
騰落率	-0.3%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

保有銘柄の利息収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

主に米ドルの為替ヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。

第7期：2019年7月11日～2020年1月10日

## 投資環境について

**欧米の劣後債・優先証券市場は金融機関および事業会社で上昇しました。**

G20首脳会議後に、米国が対中国への追加関税を見送り、米中協議の再開等が報じられると投資家心理は改善しました。また、英国ではジョンソン氏が首相に就任し、欧州連合（EU）からの離脱が「合意なき離脱」となる警戒感が高まったものの、米連邦公開市場委員会（FOMC）による利下げ期待や欧州も含めたグローバルでの金融緩和スタンスを背景に、投資家によるリスク選好姿勢が見られ、スプレッドは縮小しました。

しかし、米中の貿易摩擦が激化したことに加え、米国にて逆イールドが見られ景気後退懸

念が強まったこと、欧州でのイタリアの政局不安や英国によるEUからの離脱が「合意なき離脱」となる警戒感等が強まった場面では、投資家のリスク回避姿勢が強まりスプレッドは拡大しました。

その後は、香港での政治的緊張や中東情勢の緊迫化などにより投資家のリスク選好度が低下した場面はあったものの、2019年12月に米中貿易部分合意が発表され、英国総選挙にて与党保守党が単独過半数を確保しEU離脱に向け不透明要因が払拭されたことなどから、投資家心理が改善しスプレッドは縮小しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドは、世界各国の金融機関が発行する劣後債と優先証券等を主要投資対象とします。加えて、事業会社の発行する劣後債と優先証券等も投資対象とします。

取得時において当ファンドの信託期間終了前に満期償還日または繰上償還\*の可能日が到来する劣後債と優先証券等に投資しました。

\*繰上償還とは、早期償還や買入消却等による償還をいいます。一般的に、劣後債と優先証券に繰上償還条項が付与されている場合、繰上償還時には額面で償還されます。

種別組入比率は、劣後債と優先証券等の比率

が低下し、その他債券が過半となりました。銘柄選定においては、過去のコール実績、コールに対する経営スタンス、経済合理性などを総合的に勘案し、組み入れの可否および組入比率を検討・調整しました。

ユーロ、英ポンド、米ドルの外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配金

決算期	1万口当たり分配金（税込み）
第7期	30円

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

引き続き、世界各国の金融機関および事業会社が発行する劣後債と優先証券等への投資を行いつつ、為替ヘッジコスト等を勘案しながら再投資としてシニア債等の組入れも検討する方針です。

取得時において当ファンドの信託期間終了前に満期償還日または繰上償還の可能日が到来する証券に投資する方針です。

外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。

2019年7月11日～2020年1月10日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	36	0.346	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(22)	(0.217)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.112)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.009	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	37	0.355	

期中の平均基準価額は、10,318円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

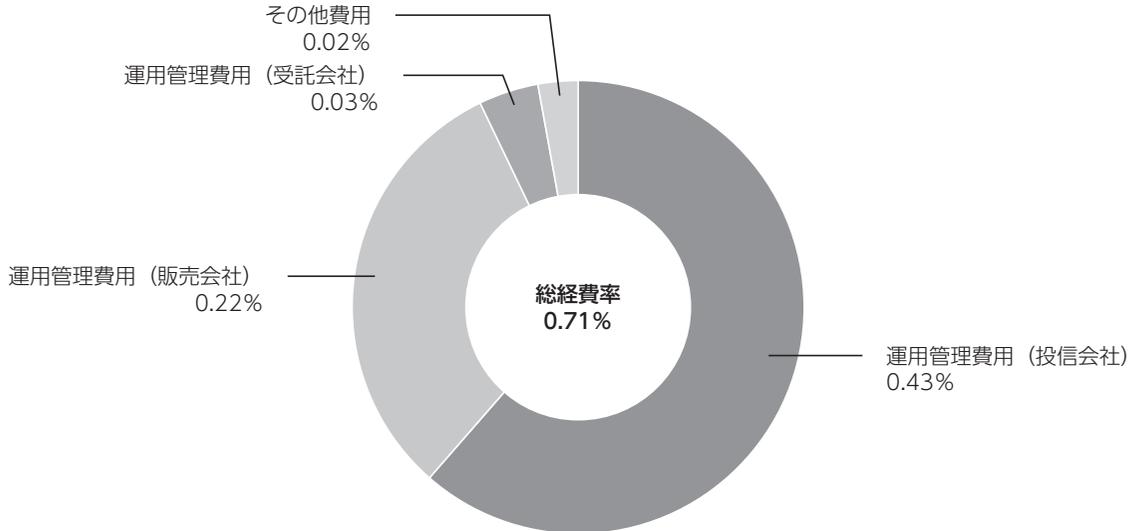
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.71%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年7月11日～2020年1月10日)

## 公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 7,320	千アメリカドル 170 (3,400)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	フランス	社債券	—	— (1,800)
	イギリス	社債券	千イギリスポンド —	千イギリスポンド 401 (1,550)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月11日～2020年1月10日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 8,535	百万円 2,792	% 32.7	百万円 8,410	百万円 3,052	% 36.3
為替直物取引	783	266	34.0	909	—	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年1月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 13,661	千アメリカドル 13,682	千円 1,499,241	% 69.4	% —	% 1.0	% —	% 68.3
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
フランス	1,000	1,012	123,271	5.7	—	5.7	—	—
イギリス	1,000	1,012	123,237	5.7	—	—	—	5.7
イギリス	千イギリスポンド 900	千イギリスポンド 902	129,216	6.0	—	—	—	6.0
合 計	—	—	1,874,966	86.7	—	6.7	—	80.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円			
社債券	2.125 ROYAL BANK 200302	2.125	700	700	76,736	2020/3/2	
	2.15 ROYAL BANK 0 200306	2.15	1,015	1,015	111,259	2020/3/6	
	2.25 BANK OF AM 200421	2.25	1,534	1,535	168,258	2020/4/21	
	2.25 STANDARD C 200417	2.25	1,600	1,600	175,371	2020/4/17	
	2.35 HSBC USA INC 200305	2.35	1,351	1,351	148,133	2020/3/5	
	2.4 CITIGROUP INC 200218	2.4	1,600	1,600	175,380	2020/2/18	
	2.4 MIZUHO BANK L 200326	2.4	1,250	1,251	137,131	2020/3/26	
	2.45 ING BANK NV 200316	2.45	1,119	1,120	122,738	2020/3/16	
	2.75 CRED SUIS GP 200326	2.75	1,650	1,652	181,024	2020/3/26	
	5.375 GOLDMAN SAC 200315	5.375	1,642	1,651	180,971	2020/3/15	
	5.5 ALLIANZ SE 491128	5.5	200	202	22,234	2049/11/28	
小 計					1,499,241		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
フランス 社債券	STEP AXA SA 400416	5.25	1,000	1,012	123,271	2040/4/16	
イギリス 社債券	6.5 LLOYDS BANK P 200324	6.5	1,000	1,012	123,237	2020/3/24	
小 計					246,508		
イギリス			千イギリスポンド	千イギリスポンド			
社債券	1.875 JP MORGAN 200210	1.875	200	200	28,663	2020/2/10	
	STEP CREDIT AGR 490129	7.589	700	702	100,552	2020/1/30	
小 計					129,216		
合 計					1,874,966		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 上記のうち、償還年月日が2020年1月30日、2049年とあるのは、永久債（繰上償還条項付き）です。

○投資信託財産の構成

(2020年1月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,874,966	% 85.5
コール・ローン等、その他	318,195	14.5
投資信託財産総額	2,193,161	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,906,250千円) の投資信託財産総額 (2,193,161千円) に対する比率は86.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.57円	1 ユーロ=121.69円	1 イギリスポンド=143.21円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年1月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,033,373,028 円
コール・ローン等	286,398,790
公社債(評価額)	1,874,966,053
未収入金	1,840,211,703
未収利息	28,145,936
前払費用	3,135,327
その他未収収益	515,219
(B) 負債	1,871,819,045
未払金	1,857,950,500
未払収益分配金	6,315,012
未払信託報酬	7,509,520
未払利息	300
その他未払費用	43,713
(C) 純資産総額(A-B)	2,161,553,983
元本	2,105,004,240
次期繰越損益金	56,549,743
(D) 受益権総口数	2,105,004,240口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,269円

<注記事項>

- ① 設定年月日 2016年7月29日  
 設定元本額 6,093,440,341円  
 期首元本額 2,201,205,017円  
 元本残存率 34.5%

また、1口当たり純資産額は、期末1.0269円です。

- ② 計算期間末における元本超過額62,864,755円と費用控除後の配当等収益32,686,364円のうち、多い金額62,864,755円を分配対象金額として6,315,012円（1万円当たり30円）を分配金額としております。

○損益の状況 (2019年7月11日～2020年1月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	40,542,632 円
受取利息	40,147,344
その他収益金	515,219
支払利息	△ 119,931
(B) 有価証券売買損益	△150,846,335
売買益	90,881,008
売買損	△241,727,343
(C) 有価証券評価差損益	109,796,035
(D) 信託報酬等	△ 7,856,268
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 8,363,936
(F) 前期繰越損益金	73,817,708
(G) 解約差損益金	△ 2,589,017
(H) 計(E+F+G)	62,864,755
(I) 収益分配金	△ 6,315,012
次期繰越損益金(H+I)	56,549,743

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	30円
-----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。